

東大阪市立柏田小学校 自然ふれあい教室 実施報告書

- ◆ 事業名称 : 2017年度自然ふれあい教室
- ◆ 事業委託者 : 東大阪市山地保全協議会
- ◆ 対象学校名 : 東大阪市立柏田小学校
- ◆ 実施日時 : 2017年11月29日(水) 10時55分～12時30分(3時限目と4時限目)
- ◆ 実施場所 : 柏田小学校(東大阪市柏田西3-7-44) 校舎内
※ 雨天の為、開催場所を枚岡公園から校舎に変更して実施した。
- ◆ 実施テーマ : 「森と遊ぼう」 <3時限目＝自然観察、4時限目＝工作>
※ 雨天バージョンに内容変更をして実施した。
- ◆ 参加者
 - ・ 柏田小学校 : 児童69名＝2年生2クラス45名、1年生1クラス24名
職員7名＝小林教頭先生、
伏見先生(2年1組担任)、景山先生(2年2組担任)、
松本先生(1年1組担任)、亀田先生(支援担当)、
植田先生・山尾先生(付き添い補助)
 - ・ 東大阪市 : 山地保全協議会3名＝副会長 山口さん、
事務局 福井さん・松田さん
(東大阪市みどり景観課)
東大阪ライオンズクラブ3名＝水田さん、堀田さん、小山さん
 - ・ 森と海の自然科:10名＝坂根、大石、空三、秦、上條、藤井、金戸、莊村、日景、中西
- ◆ 班構成ほか : 2年生と1年生の混成で5班を編成(1班15名、2班～4班各14名、5班12名)
各班を森と海の自然科メンバー2名と、先生1名で担当した。

学習会の概要

前日の17時の天気予報で、実施日の降水確率が70%となったため、学校側の判断で、急遽、実施場所を枚岡公園から柏田小学校の校舎内に変更した。時間も3時限目の授業(10時55分～11時40分)と4時限目の授業(11時45分～12時30分)に合わせて行った。

冒頭、全員が校舎内の広い部屋に集合し、児童代表の2年生の司会進行で、約10分間、自己紹介と挨拶(山地保全協議会事務局)を行った後、5教室に分かれて学習会がスタートした。

柏田小学校では日頃から、2年生と1年生と一緒に活動して、2年生が1年生の面倒をみたり、指導することが行われているとのこと、児童による司会進行も学校側の提案だったが、この後の学習会でも、2年生とは思えないしっかりとした話し方や行動、特に、集中が途切れがちな1年生にリーダー役の2年生がやさしく、しかしはっきりと指示を出していた様子が印象的だった。

＜3時限目の残り35分間 植物観察＞

□ 構成＝葉っぱに字や模様を書いてみよう、種子の風散布実験、オナモミの的当てと観察

1. 葉っぱに字や模様を書いてみよう（約10分）

予め用意しておいたタラヨウとネズミモチ又はトウネズミモチの葉数枚ずつと、樹の枝のペンを児童に配り、思い思いの文字や模様を書いてもらった。さっさと自分の名前を書く児童、ハートの模様を書く児童もいれば、力を込めて太い線にする児童、遠慮がちに細めの線を入れる児童と、皆、個性も表現内容も異なることが良く分かった。ただ、中にはしばらくしても何も書かない児童もあり、最初に「何でも自分の好きなことを書いて」と言ったことは適切ではなく、何を書くかを、少なくとも数種類、具体的に指示を出すべきであった。どんな葉でも文字が書けるわけではないこと、何故文字が書けるのかを説明したが、葉っぱに文字を書くことが植物を傷つける行為だという説明に対して、“やってはいけないことだね”と言ってくれた児童がいて、嬉しさと後ろめたさと、半ば交差した。

2. 種子の風散布実験（約10分）

イロハモミジとトウカエデの種子は、好天であれば枚岡公園の棕櫚根橋の上から飛ばす予定だったが、教室では椅子の上から投げさせ、1個と2個では種子の動きがどのように異なるかを実験してもらった。最初は上手く種子を投げ上げられなかったが、慣れてくると教室内のあちこちで回転する翼果に歓声が上がり、楽しい体験ができたようだ。

3. くつつき虫の的当てとのオナモミ観察（約15分）

3時限目の最後は、オナモミの的当てと観察を行った。丸い繊維の玉にオナモミを数個貼りつけて作った“オナモミボール”に、子供たちは最初、トゲが痛いとおっかなびっくりだったが、すぐに上手に持つコツをつかんで、列を作っての的当てに興じていた。学校側に用意してもらっていた虫眼鏡でオナモミを見て、大きくて湾曲した刺を、クワガタムシの顎に喩えるなど、鋭い観察力を披露してくれた。

＜4時限目 45分間 工作及び終礼＞

□ 構成＝工作はタイサンボクのネズミ、ソテツの実の人形。

1. タイサンボクのネズミ（約25分）

胴体と頭（タイサンボクの果実）に耳（花柄の輪切り）と鼻（フウセンカズラの種）、更に目（アカメガシワの種）と尻尾（ユリノキの花芯）を順番に貼りつけていく作業に挑戦した。作業は、果実の表面が繊毛と枯れた雌しべに被われているため、根気が必要で、小学1、2年生には結構難しい題材だったが、何度もボンドで貼りなおしたり、補助に当たった先生や東大阪市の関係者にも助けられ、予定時間内で全員が完成させた班もあった。一方で、予定時間では足りず、2つ目のソテツの実の工作は未完成のまま持ち帰りになる班もあった。

2. ソテツの実の人形（約15分）

作業自体はソテツの実の表面に顔を描いていくだけで、比較的単純だが、出来上がった作品には、目と口と鼻の輪郭だけを素朴に書いただけのものもあれば、髪の毛の状態や顔の表情を思わせるタッチが描き込まれたものまであり、多様性が興味深かった。

用意しておいたマジックインクやカラーマーカーの本数では、10名以上の同時作業には追いつかず、使いたい色のペンを待つ時間が結構あり、反省点となった。

3. 終礼（約5分）

4時限目の終わりの5分を終礼とし、班のリーダー役の児童の司会進行で、各教室で児童から感想を聞かせてもらった。楽しかったのは？の質問に対しては、回答に偏りはほとんどなく、色々なことに興味深く取り組んでくれたことが窺われた。尚、昼食は各教室で弁当を見せ合いながら、児童、先生と一緒に取らせてもらった。

写真記録



荷物を持って全員集合！！



司会は任せてください！



ちょっと狭いかも……



5つの教室で
さあ、勉強だ！
シニアスタッフも
先生と市職員も
ライオンズクラブ
だってお手伝い



何が見えたかな？



やっぱり身体使わないとね！



実は工作得意なの！



真剣な顔も …………… 笑顔も



お尻に目が……
前後逆なんです……



🌀 🌀 🌀



結構大変なんだから……



どれが見本だったかしら？



ここはやっぱり緑ね！



なにを較べているの？



やっぱり弁当は最高！！



お行儀よく食べましょう